



個人参加 動く市政教室
「治水と建築 前川貫一・國男父子の仕事」
大河津分水と新潟市美術館

実施日 令和4年7月8日(金)
新潟市美術館・広聴相談課

大河津分水工事の計画に携わった旧内務省の土木技師・前川貫一と、その息子として新潟市に生まれた建築家・前川國男の父子二代の仕事を通して、治水から建築へと受け継がれた近代日本建設の志を紹介します。通水から100年の節目を迎える大河津分水の意義をあらためて見直し、防災や文化振興についても学びます。

時間	分	見学施設	所在地
9:00		① 市役所本館正面ロータリー 出発	
↓			
9:20		② 新潟駅南口貸切バス乗り場 出発	
↓			
10:45~11:45	60	信濃川大河津資料館見学	燕市
11:45~12:30	45	大河津出張所1階多目的ホール(昼食)	燕市
↓			
12:45~13:05	20	にとこみえ〜る館(大河津分水路改修事業)	長岡市寺泊野積
↓			
14:00~15:15	75	新潟市美術館 企画展「マン・レイと女性たち」	中央区
↓			
15:40		解散:新潟駅南口→市役所の順	

	応募数	参加数
7月8日	38	12

参加者からの主な意見・感想

全体を通しての意見・感想

- ・それぞれ担当の方の、詳細な説明が非常に興味深く聞けた。
- ・大河津分水へは、以前から行ってみたいと思っていたので、大変良かった。また説明の方も、ハッキリと分かりやすく説明してくださり有難うございました。新潟市美術館も企画された方の説明が大変詳しく良かった。
- ・今回は大河津分水というテーマで飛びつきました。子どものころ遠足で見学したときの水の恐怖から、現在の科学・人間のすばらしさを感じた。展示物も詳しく、もっとしっかり読んだりしたかったが、時間が少なく残念だった。「二床」の現場見学もできてうれしかった。とにかく先人の努力があって今の私たちが生きていられるということを感じた。座席もゆったりで私語も少なく静かでゆったり見学できた。
- ・三条市で生まれ育ち、祖父が水害で苦しんだと聞いていたので、大河津分水の存在と歴史を認識したかった。

各施設の意見・感想

【信濃川大河津資料館】

- ・総体的な内容は理解できたが、興味を持ったものについての深掘りするところまで示唆してもらえると、より一層理解が進むと感じた。
- ・とても良かった。案内人の方の説明があると分かりやすい。自由見学の時間が欲しかったのと可動堰に見学に行けることを事前に知りたかった。
- ・説明員がハッキリと分かりやすく説明されて良かった。
- ・前川貫一から前川國男の関係がよく分かった。
- ・大河津分水路があることで信濃川流域が守られていることがよく分かった。そのための先人たちの苦勞、労力が大変なものだったことを知り、今に至っても努力されていること、ありがたいことだと思った。
- ・「にここみえ〜る館」の見学で改修工事理解ができ良かった。2007年に「信濃川自由大学」（国交省信濃川河川事務所主催）を受講して以降の変化・改修に関心があった。
- ・展示物をしっかり読み体感するには時間が少々足りなかった。分かりやすく展示されていたので個人的に行くしかないと思った。

【新潟市美術館】

- ・美術館観覧が前川國男さんつながりだった事が当日まで分からず、なぜなぜ？と考えていた。前川國男さんのことを興味を持ち人物に惚れ込んで熱く語る姿は印象的でした。とても伝わりました。
- ・前川國男氏と新潟の関係は的確な説明で上手だった。マスクで聞き取りにくい個所もあった。「マン・レイと女性たち」は作品が多く説明パネルも多く全部読んで作品を見てはとても時間が足りなかった。学芸員がポイントを絞って案内し、説明してほしかった。

※いただいたご意見等は、広聴相談課でまとめて各見学施設や関係課・者へ伝えます。